

千葉大学 国際高等研究基幹 特任助教募集要項

公募 募 内 容	募集職名	特任助教（フルタイム・任期3年）
	募集人員	2名程度
	募集対象者	以下のいずれかに該当する者を対象とする。 1. 本学において博士の学位を取得した以下の①～④の者 ① 独立行政法人日本学術振興会 特別研究員（DC・PD・RPD）または外国人特別研究員採用（経験）者 ② 次世代研究者挑戦的研究プログラム「全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト」修了者（予定者含む） ③ 本学の卓越大学院プログラム修了者（予定者含む） ④ 本学の博士課程教育リーディングプログラム修了者（予定者含む） 2. 独立行政法人日本学術振興会特別研究員（DC・PD・RPD）または外国人特別研究員採用（経験）者で、本学を受入研究機関に選定した者
	専門分野・求める人物像 ①～④より主・副を各々選択し応募書類に記載	学問領域は特定しないが、以下の求める人物像に合致する者が望ましい。 ① 学問の多様性を尊重し、かつ独創的な研究を目指す者 ② 学際研究領域を開拓する世界水準の学術研究を目指す者 ③ 新たな価値を創造するイノベティブな研究を目指す者 ④ 社会・経済・文化の発展を妨げる課題解決を目的とした研究を目指す者
	担当業務	・自身の専門分野に関する研究活動 ・国際高等研究基幹開催イベントへの積極的な参加・協力
	採用時期	令和8年4月以降（内定：令和7年9月予定）
	応募資格 ①～④の全てを満たす者	① 博士の学位取得後8年未満の者。採用時期における取得予定を含む。 但し、ライフイベント（出産・育児・介護）を理由とする研究中断期間を除く。 ② 採用中に研究代表者として科研費の獲得を目指す者。 ※直近で応募した科研費研究種目の審査区分（小区分）があれば明記（複数可） ③ 当該専門分野において優れた研究実績を踏まえて、研究職に高い志を有する者。 ④ 本学所属の教員からの推薦を受けた者。 ※推薦者となることのできる教員は助教および特任教員を除く、教授・准教授・講師とする。 ※推薦者については、本申請者のメンター教員としての支援もしくは、メンター教員の紹介が可能であること。また、本申請者の研究スペースの確保が可能な者に限る。

待遇・所属等	給与等	本学の特定雇用職員給与規程に基づき支給する。
	勤務時間※	原則、裁量労働制
	休日※	週休日（土曜、日曜）、祝日及び12月29日から翌年1月3日（ただし、週休日及び祝日等に勤務を命じる場合がある）
	休暇等※	年次有給休暇、特別休暇（産前産後休暇、忌引休暇等）、病気休暇、育児休業等
	福利厚生	文部科学省共済組合に加入
	任期	採用日から3年間（原則として更新予定なし）とする。
	所属	国際高等研究基幹 全方位イノベーション創発センター

配属等	原則として、推薦する教員の所属部局とする。
その他	・各部局の教育研究活動に参画することを奨励する。 ・メンター教員を置き、本申請者の研究活動および、3年後のキャリアパスを支援する。

※詳細は千葉大学特定雇用職員就業規則参照

提出書類	① 個人調書（様式1）※教員候補者の学術業績の説明書を含む ② 主要論文別刷（各1部・複写可）3編以内 ③ これまでの研究・教育活動の説明と採用後の研究計画（A4用紙2枚程度） ④ 国際高等研究基幹の教員として研究活動を行うにあたっての抱負等（A4用紙2枚程度）。（求める人材像から対応するものを主・副を選択し記載すること。） ※提出書類は全てについて電子媒体（PDFファイル）により提出すること。 ※パスワードは個別のファイルごとではなくzipファイル等に設定すること。 ※②～④については様式任意とする。
-------------	---

提出締切日	令和7年7月25日(金) 必着
書類提出先	推薦する教員の所属部局の担当係あて ※当基幹所属教員は、活動部局に提出をお願いします。 （各部局にて取りまとめの上、研究推進課総括係へ提出してください）
留意事項	① 応募書類は、本選考以外には使用はせず、原則として返却しません。 選考後は責任をもって破棄します。 ② 選考は書面審査、審査の過程により面接を実施する場合があります（オンライン面接を予定）。 ③ 教育研究業績が同等であれば、女性、外国人を積極的に採用します。
問合せ先	千葉大学研究推進部研究推進課総括係（国際高等研究基幹担当） （Mail：iaar-office@chiba-u.jp）

【国際高等研究基幹について】

国際高等研究基幹は、学問の多様性の尊重、学際領域の開拓及び新たな価値を創造するイノベーション創出を推進し、我が国の社会・経済・文化の発展に資することを目的として、令和4年4月に設立した組織です。同基幹では、千葉大学の強みと成り得る優れた中堅・若手研究者グループによる飛躍的な研究を支援するとともに、次世代を先導する中堅・若手研究者の育成を支援することを主な業務としています。